

ひとひと 女と男 パートナーシップ

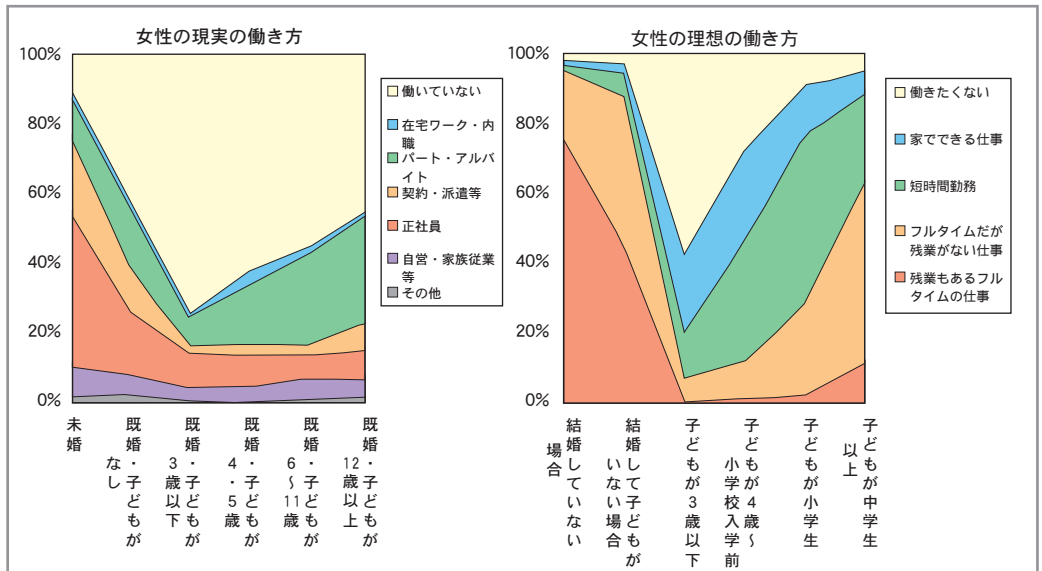
企画課 男女共同参画推進係 ☎72-2111(内線222)

女性のライフプラン

女性の生涯は、男性に比べると結婚や出産、育児などによって大きく左右されることがあります。それだけ、それから先の生き方を考えて選択しなければならぬ場面が多いともいえます。内閣府は昨年12月、結婚や妊娠・出産、子育て時の選択や、希望する生き方を選択するのに必要な支援などについて、30〜40歳代の女性を調査しました。

女性の働き方の希望と現実

女性の理想の働き方をみてみると、未婚時や結婚して子どもがいない時はフルタイムの希望が多く、子どもが3歳以下では働きたくないという人が6割近くなり、子どもの年齢が高くなるにつれ働きたいという希望が再び多くなります。一方、現状を見ると、全体的に働いていない割合が希望より多く希望と現実のギャップが見られます。子どもが4歳以上になると働きたいと希望する割合が7割以上になるのに対し現実には約4割、子どもが中学生になるとフルタイムでの仕事を希望する人が6割を超えるのに対して、実際には子どもが12歳以上で働いている人は5割強で、正社員は少なくなっています。女性の働き方



結婚・出産時の選択の満足度
結婚時に、働き続けることを

の希望は、結婚や出産、子どもの年齢などとともに変化しますが、現実には希望するような選択が十分にできていないことがわかります。

（グラフ・データは内閣府「女性のライフプランニング支援に関する調査報告書」より）

子育てをしながら働くために

子育てをしながら働くために必要なこととしては、「家族の状況で「配偶者・パートナーが平日も家事・育児に協力してくれること」が最も多く、職場の環境・制度としては「子どもが病気の時や学校の行事などで休みが取れること」をあげる人が多くなっています。

希望し実現した人は「よかったと思う」割合が高く(90.0%)、働き続けることを希望したがやめた人ではその割合が低く(39.2%)なっています。また、第二子出産・子育て時には、これまで働いておらず仕事をしないことを希望し実現した人で「よかったと思う」割合が最も高く(81.2%)、働き続けることを希望したがやめた人、やめることを希望したが働き続けた人で低く(48.6%、48.8%)なっています。

日本女性会議2007ひろしま

〜一人ひとり響きあって
いまそして未来へ〜

期日 10月19日(金)〜20日(土)

内容

19日13時30分〜分科会(16分科会)、18時〜交流会

20日(2会場で開催)9時〜開会セレモニー、全体会(「広島国際会議場」シンポジウム「平和を創り出す若者たち」、記念講演(池田香代子さん・作家)

【広島厚生年金会館】シンポジウム「男女共同参画社会を超えて」、記念講演(吉行和子さん・俳優)、14時50分

閉会セレモニー

参加費 大会のみ参加3,500円、大会・交流会に参加8,500円

申し込み方法 実行委員会ホームページまたはファクス

申込締切 7月31日(火)正午

問い合わせ先 日本女性会議2007ひろしま実行委員会事務局

☎ファクス082-2442-5646 ホームページ

<http://www.hiostima2007.info/>

市企画課でも申込み用紙の配布をしています。

参加にかかる費用の一部を補助します。詳しくは市企画課(内線222)にお尋ねください。